



Newspaper in Education

記事を読んで、問いに答えましょう。

静岡新聞で学ぼう

解答例



2022年 7月20日朝刊西部版

傷んだ学校机 ピカピカ

沼津 沢田小児童が修理



物大切に する心養う

沼津市中沢田の沢田小6年生が19日、普段使用し、傷付いた学校机を改修する体験型教育プログラムに臨んだ。自ら直すことで物を大事に扱う気持ちを養うSDGs（持続可能な開発目標）の学習の一環。約60人の児童がきれいになった天板を喜び、物を大切にしたいを実感した。

天板改修に使ったメラミンシートは国内シェアトップのアイカ工業（名古屋）と代々木（東京）が提供する。沼津市と大井町市が協賛し、指導など協力した。

学校机は経年劣化に加え、カッターやコンパスによるひっかき傷が目立つ。机の寿命は10年ほどという。各社の担当者らは天板を交換せずに粘着剤付きのメラミンシートを重ねて貼ることで、余分な費用を出さずに経費も抑えられるなど、工夫次第で多くの効果が得られることを強調した。メラミンシートは抗ウイルス

機能もあるという。児童は協力しながら作業に臨み、改修を終えると「見違えるほどきれいになった。大切に使う」と新調した天板をさすった。

（東部総局・高橋和之）

協力して傷付いた机を直す児童

沼津市中沢田の沢田小

①児童が修理を体験したのはどのようになった学校机ですか。

経年劣化に加え、カッターやコンパスによるひっかき傷が目立つ（傷ついた）学校机

②児童はどんな方法で学校机を修理しましたか。

（例）天板を交換せずに粘着剤付きのメラミンシートを重ねて貼る。

③この体験で、児童はどんなことを学びますか。

（例）自ら直すことで物を大切に扱う気持ちを養う。

④体験を終えた児童の気持ちを記事から想像して30字以内で書きましょう（句読点を含みます）。

（例）見違えるほどきれいになった机だから大切に使いたいな。（27字）

天板がこんなにきれいになるとは思わなかった。うれしいな。（28字）

自分で直すことで物を大切にしようとする気持ちが強くなったよ。（30字） など

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

（小学校高学年～中学校、教員／技術・家庭・道徳・特別活動、総合）

年 組 名前